

令和6年
7月発行

水産にいがた

発行所
新潟市中央区万代島2番1号
新潟県漁業協同組合連合会
発行人 寺尾和弥
www.van-rai.net/nigyoren/
※会員の購読料は指導事業
経費より支払いされてい
ます。



祝 旭日小綬章 JF新潟漁連 前代表理事会長 小田政市氏 右 小田令夫人

主たる目次

水産系統団体 通常総会（定時会員総会・定例総会・事業実績報告会）	2
祝 旭日小綬章・新組合長紹介	13
人事往来	14
県指導普及職員紹介	15
人事往来	16
系統団体職員紹介	17
県内イベント情報	18
高規格のどぐろお披露目会について（新潟県産高規格のどぐろについて）	19
大変動を繰り返す魚「マイワシ」	20
水揚情報／地区別魚種ランキング12月～5月	21
漁船情報	23
新潟海上保安部よりお知らせ	24
税関から漁業関係者の皆様へのお願い	25

令和六年度系統団体通常総会（定時会員総会・定例総会・事業実績報告会）開催

新潟県漁業協同組合連合会

県漁連の令和六年度通常総会が、六月二十五日に新潟県水産会館大会議室で開催されました。

令和六年度新潟県漁協役員永年勤続者表彰として次の方々表彰されました。

- 新潟漁協 南 聡美
- 新潟漁協 石黒貴衣子
- 新潟漁協 渡辺 英也
- 新潟漁協 佐藤 真弘
- 新潟漁協 原 智之
- 佐渡漁協 金子 幸雄
- 県漁連 市橋 栄作

総会の議長に水津漁協の高野代表理事組合長が選出され審議に移り、令和五年度事業報告、令和六年度事業計画等の報告が行われ、全議案が原案どおり可決されました。

◆事業の状況

令和五年度における当連合会の実施した事業として、事業部門ごとの実績のうち購買事業の石油部門については、ロシア政府によるウクライナへの軍事侵攻、中国における都市封鎖や米国による利上げ等により原油価格は値動きの大きい展開となりました。

このような状況の下、全漁連をはじめとする仕入先と可能な限り価格交渉を行い、安定供給に努めました結果、上・中・下越地区会員に対する取扱いに加え、員外利用の大幅な減少により、前年度対比で数量九〇・八％、金額九八・八％の取扱いとなりました。

資材部門では、漁網鋼類、船用機器及び包装資材の取扱いは増加したものの、発泡スチロール魚箱の取扱いが大幅な減少により、前年度対比金額で九五・三％となりました。

製氷冷凍事業の凍水では、上・中越地区での取扱いが減少したものの、冷餌料においては、籠漁に使用する冷凍サンマ・ニシン等の取扱いが増加したことから、前年度対比金額一二〇・五％となりました。

販売事業については、新潟市場扱いのタイ・ブリ・ノドグロ、刺し網漁でのマダラ、籠漁でのナンバンエビが増加したものの、メジマゲロ・アジ・カレイ類・海藻類が減少したことから取扱い数量は減少したものの、魚種によっては、魚価の回復もみられたことから取扱い金額は増加しました。買取販売も減少したことから、販売事業全体では、前年度対比金額で九九・〇％となりました。

一方、指導事業は、会員の負託に因應するため、県域アクションプランの基、漁協組織強化・漁業資源回復・漁業就業者確保及び育成・燃油高騰対策・浜の担い手漁

船リース事業推進等について、県並びに関係機関の協力を得て積極的な事業展開に努めたことに加え、昨年八月に東電福島第一原発から海洋放出されたアルプス処理水への風評被害対策と一部魚種の禁輸措置に係る漁業被害への対応を積極的に行ってまいりました。

今後も引き続きこれら問題については注視し、会員各位との情報の共有とアルプス基金事業の推進に努めてまいります。

また、このような中、本会と致しまして、これら事業に加え、経営強化の観点から事業管理費等の削減を図るなど健全な運営を確保するよう努めてまいりました結果、経済事業総取扱高は二十三億六千四百六十二万円、事業利益は七千七百五十五万円となり、当期剰余金は五千九百三十五万円を計上することができました。

令和五年度の事業の状況は以上のとおりであります。今後も役員が一人となり、健全な事業運営を確保するよう努めてまいりますので、会員並びに関係各位の御理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

東日本信用漁業協同組合連合会

新潟支店

東日本信漁連が設立され、第三

事業年度となる令和五年度は、令和六年一月一日に発生した能登半島地震により、管内住民・利用者・会員・漁業施設に甚大な被害をもたらしました。被災した皆様に対して心からお見舞い申し上げるとともに、一刻も早い復興に向けて当連合会も最大限対応してまいります。

当年度の決算に係る事業実績等報告会は、去る六月二十五日に新潟県水産会館大会議室で開催されました。

経済・金融環境については、令和五年五月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが五類感染症に移行し、経済活動が活発化したことや、物価上昇・高い賃上げの機運が国内においても高まったことを契機として令和六年三月に日銀がマイナス金利政策解除を決定するなど、変化の大きな一年となりました。特に当連合会としては、

世の中の金利が少しずつ上がり始めた「金利ある世界」の中で、どのような事業運営を行っていくのか、より一層の検討深化の必要性を認識しております。

漁業環境については、燃油価格の高騰等、厳しい状況が続く一方で、コロナ禍の影響が概ね収束したこともあり、一部魚種については単価上昇傾向がみられました。しかし、中国が日本のALPS処理水放出を理由に水産物の輸入を停止したことに伴い、ホタテの輸出量については大幅な減少傾向となり、管内漁業者にも多大な影響を及ぼしました。

このような情勢のなか、当連合会経営状況は、経常利益七九三百万円（事業計画対比＋四五三百万円）、当期剰余金七八八百万円（同比＋四七七百万円）の実績となりました。貯金・貸出とともに統一キャンペーンを実施するとともに、浜に出向く体制の構築と漁業金融機能の強化に取り組むことで貯金七、〇五六億円（同比＋二二二億円）、貸出金一、二四五億円（同比＋二八億円）の年度末残高

を確保しております。事業管理費は四、七七八百万円（同比＋四百万円）と概ね計画通りの着地となりましたが、今後もより一層の効率化に向けて取り組みを進めてまいります。

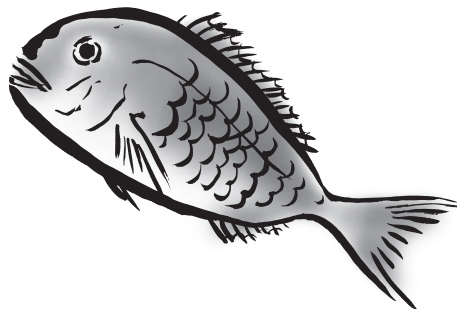
令和六年四月に宮城県漁業協同組合から信用事業を譲り受け、一三都県域における事業運営体制となったことから、今後は、さらなる広域的な事業運営を進めるとともに、地区ブロック毎の運営体制の検討等、より一層経営の効率性を高めることで、さらに漁業者・会員の皆様への価値提供向上に努めてまいります。

【貯蓄推進業務】

年二回の貯蓄キャンペーンを中心に貯蓄推進活動を展開し、年度末残高七、〇五六億円の実績となりました。また、下期貯蓄キャンペーンでは寄付金型定期貯金を販売し、お預かりした定期貯金残高の〇・〇二%相当額を（公財）漁船海難遺児育英会へ寄付いたしました。

【貸出業務】

浜に出向く体制として、役員員一体となって利用者への訪問活動を積極的に実施するとともに、会員漁協や大規模漁業者への大口資金需要への対応や、生活ローンの統一キャンペーン推進等に取り組むことで、年度末残高一、二四五億円の実績となりました。



日本漁船保険組合 新潟県支所

◎事業の概要

令和五年四月、定例保険料率改定を行い通常保険料率については、普通損害保険では平均五・一二％の引下げ、漁船船主責任保険基本損害で平均二・六六％の引下げ漁船積荷保険では損害率が高い二〇〇トン以上に限って引上げ、これ以外の漁船積荷保険、漁船船主責任保険乗客損害、人命損害及び漁船乗組船主保険については据置とした。

令和六年一月一日に発生した能登半島地震では石川県を始め富山県、新潟県において加入漁船に被害が発生し、本組合では保険金の早期支払い及び円滑な事業運営に係る水産庁からの要請等を踏まえ、特に被害の大きかった石川県に本所から役職員を派遣し被害状況調査等を行い保険金の早期支払いに努めているほか、保険更新手続きが困難な一部の漁協においては弾力的な事務手続きを実施した。

なお、大日本水産会を通じて三〇万円、全国漁業協同組合連合会を通じて一〇〇万円の義援金を贈った。

今年度も特別準備金を用いて実施している事故防止対策・無事戻事業・啓発普及事業・施設設置事業・整備点検事業・船舶自動識別(AIS) 助成金交付事業及び普及宣伝事業についても継続して実施致しました。

◎保険事業

一、普通保険

本年度の加入隻数は二、二九七隻で対前年比四七隻の減少、保険金額は一・二九億六六、八七千円で、対前年比一・二三、九四〇千円の減少となりました。純保険料は一四六、七二四千円で対前年比一、八八七千円の減少です。減少の要因は休船や廃業の自然減少が主な要因と考えられます。

一方、保険金支払いは三二八件で対前年比五件の増加で、高額な支払いが多く支払保険金額が一九〇、一七九千円で前年度とほぼ同額となり損害率が一二・九・六％で

高止まりとなっています。大額支払が多かったことが要因で、火災やエンジン関連の整備不良、設備類の経年劣化が主な原因となっています。

二、漁船船主責任保険(基本損害)

本年度の加入隻数は普通保険と同じく二、二九七隻でした。一隻当たりの平均加入保険金額は一九四、四七一千円で対前年比二、七三九千円増加しましたが、目標としている全国平均の保険金額六七四、〇〇〇千円には遠く、今後も責任制限額を目標として保険金額のランクアップ推進を継続してまいりますので、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

保険金の支払いは一八件で、支払保険金は二六、八二五千円となり対前年比二〇、九三六千円の増加です。全損事故による船骸撤去費用が発生したことが主な要因です。その他の保険につきましては概ね計画通りに推移いたしました。

◎特別準備金を活用して実施した事業

一、事故防止対策事業

前年度と同様に以下の事業を実施致しました。①無事戻事業(平成三一年度から令和三年度の三年間) 保険金請求が無かった組合員に対し総額一〇、三五七千円をお支払いいたしました。②啓発普及事業(令和五年度より三ヶ年計画で加入漁船へ帽子と衝突予防旗の配布の初年度で佐渡地区の更新を向えた地区へ配布しました。)③整備点検事業(地元の鉄工所等の協力を得て加入漁船八一隻に係る、機関の整備点検を実施し費用の全額をお支払しました。)④船舶自動識別装置助成金交付事業(AIS搭載船三〇隻に対して、保険料の一部を助成しました。)

二、普及宣伝事業

県下の漁協担当者研修会を佐渡地区と新潟地区に分かれて開催し、漁船保険の推進や事故への対応について理解を深めていただきました。以上が事業の概要ですが、このような報告ができますことは関係機関のご指導、ご支援

と、組合員各位並びに漁業協同組合の役員皆様方のご理解とご協力の賜物でありお礼申し上げますと共に制度の使命を十分果たし、微力ではありますが漁業経営に貢献できたと思います。

◎令和六年度事業計画並び新潟県

支所の組織体制

加入計画は過去の実績を勘案し、計画を立てました。基幹となります普通保険は引受隻数を対前年比三〇%の減少で、二、二三〇隻とし保険金額は一二六億六、九六三千万円、純保険料は一四六、五五三千万円の計画といたしました。その他の保険も過去の実績を勘案し計画致しました。また、特別準備金を活用して実施する事業につきましても例年とおりの規模で実施致します。

新潟県支所運営委員の任期任期満了に伴い次のとおり本所会長より委員の委嘱がありました。運営委員の任期は令和六年六月一日より令和九年五月末日までとなります。

【運営委員会】

運営委員長 脇坂三重城
 運営副委員長 寺尾 和弥
 運営委員 磯谷 光一
 〃 仲田 紀夫
 〃 関本 貢
 〃 本間 勉
 〃 葛西 澄人
 〃 富樫 聰(新任)
 〃 本間 信俊(新任)
 〃 水野 信明
 〃 伊藤 透(員外)

【職員】

支所長 伊藤 透
 統括部部长 金子 真吾
 総務課課長代理(総務担当) 藤井 香織
 業務課課長代理(引受担当) 長谷川 早
 業務課課長代理(審査担当) 本間 義基
 業務課技師 矢島 耕輔
 総務課 嘱託 澤田 和香

佐渡ヶ島の海が育てた究極の味わい

海底20mで半年間熟成

佐渡ヶ島海底熟成酒

佐渡ヶ島海底熟成酒は、ほのかに海の香りが漂い、まろやかで角のとれた味わいです。熟成させることで匂いや色に変化し、深い味わいを楽しむことができます。

日本酒 白ワイン 赤ワイン



- 購入はこちらから
- 佐渡潜水公式オンラインショップ
- <https://sadosensui.buyshop.jp>



佐渡潜水株式会社

新潟県佐渡市加茂歌代331 TEL:0259-58-7228 URL: <https://sadosensui.co.jp>

全国漁業信用基金協会新潟支所

全国漁業信用基金協会新潟支所の事業報告会が、六月二十五日に新潟県水産会館で開催されました。

全国組織では、令和五年度に理事を四十一名から二十一名に、監事を三十八名から十一名に大幅削減したことに伴い、新潟支所では令和五年七月から執行役員を置いて業務を推進してきました。

令和五年度は、五月に新型コロナウイルスの位置づけが軽減されたことで、社会・経済活動が活発になり、国内景気が大きく回復しました。一方で、ウクライナや中東地域の先の見えない国際情勢と著しい円安によって様々な物価が上昇するとともに、賃上げによる人件費の増加も生じています。

国内水産業は、景気回復と輸入水産物の高騰によって、産地市場では多くの魚価が前年を上回りました。しかし、燃油や漁業資材の高騰、生活に係る諸費用の増加によって、漁業者は厳しい経営が続

いていると思われれます。

本県水産業は、水産資源の減少、後継者不足等の課題はあるものの、県内産地市場の魚価は全国同様に上昇傾向となりました。一方で、水揚額の大きいスルメイカ、秋サケ、寒ブリが不漁になったことや、海水温の上昇に伴う魚種の変化によって、これらを水揚している漁協や漁業者にとって厳しい経営環境になりました。

また、令和六年元旦に発生した能登半島地震では大きな被害は免れたものの、上越地区で漁船や漁業施設等の損傷、そして急激な漁場では漁獲量の減少等の被害が生じています。

このような中で、新潟支所では、燃油・資材の高騰、温暖化や震災等の影響を受けた漁業者等に対して細やかな経営支援を継続するとともに、漁業後継者や新規就業者、そして経営改善に向けた新たな取組等についても積極的に対応していきます。そして、これらを実行するため、国の支援制度を適切に活用するとともに、金融機関と協力して本県水産業の振興に

寄与してまいります。

事業概要

令和五年度は、漁船リース事業が四件（前年度0件）、それ以外の一千万円以上の保証契約が前年度と同じ四件あったこと等から、保証額は前年度より一億七千九百四十六万円増加して、三億六千三百一十一万円となりました。その結果、年度末の保証残高は十八億九千二百四十四万円となり前年度を五千三百九十八万円上回りました。

保証料収入は前年度より十三万円増加して一千三百二十二万円となり、運用益収入は前年度より七万円増加し一千四百八万円となりました。

求償権については、計画の約六割となる百三万円を回収し、また償却が三件七百九十四万円あったことにより、本年度末の求償権残高は前年度より八百九十八万円減少し、二千三百三十七万円となりました。

経常利益は百五万円のマイナスでしたが、有価証券の売却益によって、当期利益は三百一十万円を

計上しました。

新潟支所の組織体制

令和六年度の組織体制は前年度と同じ構成になっており、現在の運営委員、執行役員の任期は令和八年六月末日までとなります。

《運営委員会》

運営委員長 寺尾 和弥
運営委員 河村 智志

〃 大橋 敦史
〃 末武 嗣朗

〃 樋口 雄一
〃 富樫 聡

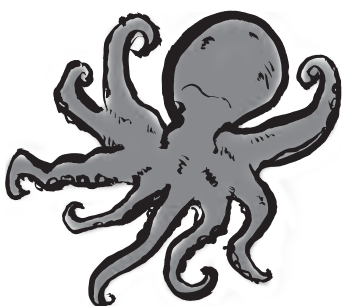
〃 本間 勉
〃 大門 燈一

《職員》

執行役員 安澤 弥

副所長 齋藤 真弓

課長補佐 一箭 義貴



(公社)新潟県水産振興協会

◆事業概要と決算

六月二十五日、水産会館において、総会を開催いたしました。上越市漁協の仲田組合長が議長となり議事が進められ、全議案が提案どおり承認されました。その中で、役員候補欠選任も承認され、次の役員体制となりました。

- 会長理事 寺尾 和弥(漁連会長)
- 専務理事 藤田 利昭(員 外)
- 理事 河村 智志(新潟県)
- 小川 良和(村上市)
- 星野 剛正(糸魚川市)
- 末武 嗣朗(佐渡市)
- (新) 内藤 良治(出雲崎町)
- 葛西 澄人(大倉漁業)
- 磯谷 光一(上越漁協)
- 土屋 貞男(新潟漁協)
- 水野 信明(姫津漁協)
- 皆川 雄二(内漁連)
- 村山 賢二(阿賀野川)
- 丸山チカ子(県女性連)
- 大橋 敦史(新潟市)
- 小池 正容(内浦漁協)
- 佐藤 克雄(三面川漁協)

当協会の業務は、「栽培漁業の推進」、「漁港漁場整備の促進」、そして「水産振興基金の運用益を活用した助成事業」の三つの柱で構成されています。

栽培漁業では、令和5年度もヒラメ、アユの種苗生産・配布・放流、アワビ、サザエ、クルマエビ種苗の斡旋・放流を行いました。

ヒラメについては、村上事業所で生産した全長50〜80mm以上の種苗22万尾を県内の漁協等に配布・放流しました。また、北海道から富山県までの広域資源造成支援事業を受託し、背ビレカットしたヒラメを含む3万尾の種苗を放流しました。

アユについては、内水面の関係漁協に中間育成用の種苗12.5万尾を出荷しました。

その他、アワビ種苗25万個、サザエ種苗12万個、クルマエビ種苗20万尾を県外から購入し、漁業関係者に配付しています。

漁港漁場整備に関しましては、秋田県で開催される予定だった北

日本地区漁港漁場協議会は、洪水により書面決議となりましたが、東京で開催された全国漁港漁場大会集会には関係者3名で出席いたしました。そして、十一月には漁港・漁場・漁村・海岸整備の促進に関する提言を国へ要請することができました。

その他に、県内各地で、漁港や海岸の清掃活動に取り組んでいる団体を支援する事業も引き続き行いました。

基金の運用につきましては、不安定な金融情勢の中ではありましたが、円安が継続したことにより、米ドル、豪ドル建ての商品が高利回りを維持し、運用益は昨年より三百万円多い五千三百万円余りとなりました。しかし、ロシアによるウクライナ侵攻が継続する中、今後も厳しい状況が続くものと思われれます。

この運用益を活用した助成事業に関しましては、従来からの漁協指導や、漁場の環境保全、漁業後継者の育成、魚食普及の推進、コロナ対策に取り組む団体等に助成しております。これに加え、例年

どおり、サクラマス資源の増殖活動に対する助成事業も実施しました。

以上の取組みを実施する中で、令和五年度の決算は、経費の節減や基金の運用益が順調だったことなどから、栽培漁業にかかる電気料金等物価高騰などにより経費が増大したものの、昨年に引き続き、経常収支は黒字となりました。

令和六年度におきましても、ウクライナ情勢等で収支予算の見込みがたちにくい状況ですが、五年度と同様の事業に助成を行う計画です。水産業界全体が厳しい状況にあります。本協会の使命である本県水産産業の振興に寄与するよう効率的な運営に努めてまいりますので、宜しくお願い致します。



全国合同漁業共済組合 新潟県事務所

全国合同漁業共済組合 新潟県事務所の実績等報告会は、去る六月二十五日、「新潟県水産会館」大会議室において開催されました。

(事業概況)

「ぎよさい」と「積立ぶらす」は漁業者に十分認知されてきているが、より一層の定着を期し、「ぎよさい普及推進全国運動」を展開しました。令和五年度においては、国・地方自治体・漁協系統団体との連携を更に強化し、組織一丸となって積極的な普及推進に取り組みました。

この結果、漁業共済の契約実績は共済金額で約五十五億五千二百万円（前年対比九十五％）三億九百万円の減少）となりました。新規契約等での増加がありました。一方、沖合底曳漁業の廃業や養殖業の尾数減、定置漁業の支払いからの自然減の影響で大変厳し

い年度となりました。積立ぶらすの引受実績は、漁業者積立額約四億七千二百万円（前年対比一一一％）で約四千五百万円の増加となりました。昨年度から引き続き大変な年度ではありましたが、漁業者の皆様のご理解と関係各位のご支援並びにご協力を賜りましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

一方、支払いの状況は、漁業共済全体で約一億九千三百万円（前年対比八七％）約三千万円の減少）と減少傾向となりました。漁獲共済の支払いでは、まき網漁業の支払い、定置漁業では主力魚種であるブリ・サケの不振が続いており依然として支払額が高止まりしている状況となりました。積立ぶらすの払戻は、払戻額約十億六千八百万円（前年対比一〇二％）となり漁業共済と積立ぶらすの支払いを合わせると十二億六千万円と大きな額となりました。このことから制度の責任を果たすとともに、漁業経営にしっかりと貢献できたものと思っております。今後も主力魚種の不漁など油断でき

ない状況は続きますが、これからも少しでも漁業経営の助けとなるよう、より良い制度の実現に向けて取り組んでまいりますので皆様の変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(基本方針)

我が国の漁業は、漁業就業者の減少、頻発する自然災害、外国漁船の違法操業、海洋環境の変化等によるさんま、いか、さけ等の資源減少、さらには円安や国際情勢の不安定化により燃油・飼料価格の高騰が続くなど、多くの課題に直面しています。昨年は、台風や豪雨などの災害、年明けに能登半島地震が発生し、漁業経営や漁協・漁村は依然として不安定な状態が続いている。また、東京電力による福島第一原子力発電所のALPS処理水の海洋放出に伴う中国・ロシアによる水産物の輸入制限措置の実施といった新たな問題も発生しております。

このような厳しい漁業環境を踏まえ、国は漁業経営を支える「漁業収入安定対策事業（積立ぶらす・掛金追加補助）」に対して前年度の五百八十二億円に続き、令和五年度補正予算と令和六年度予算で計四百二十七億円を確保し、基金の積み増しを行ったところである。

国は新たな水産基本計画に基づいて、漁業においては、TAC魚種の拡大やI/Q管理の導入を図ると同時に、複数の漁法等による複合的な漁業への転換を含む漁船漁業の構造改革を進めようとしています。

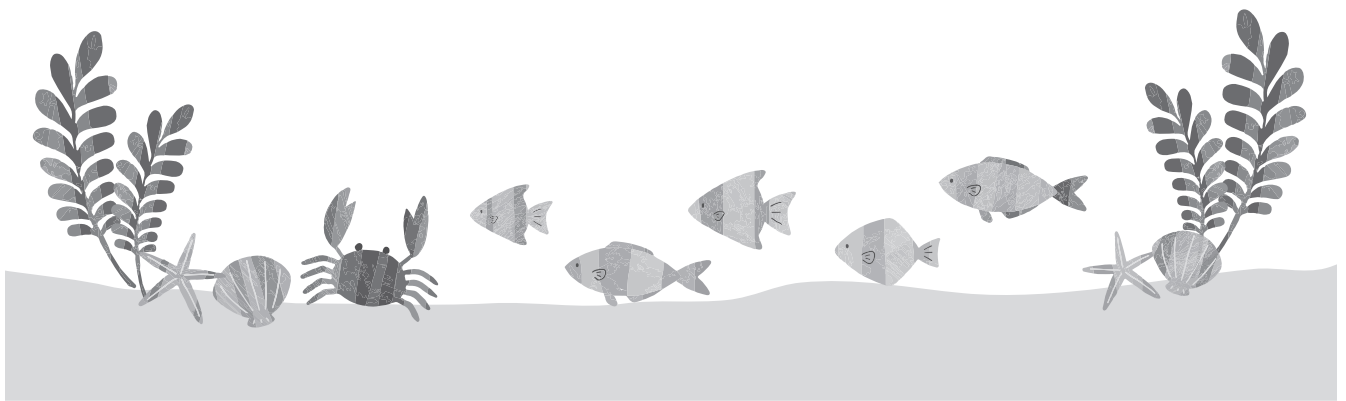
このような状況を踏まえ、「ぎよさい」と「積立ぶらす」についても、制度の持続的かつ安定的な運営の確保と漁業を取り巻く状況の変化に対応するために、水産基本計画等に基づいた制度見直しの検討が進められているが、検討にあたっては、漁協系統・漁業者団体との緊密な連携と協議を通じて、漁業実態の変化や漁業者の意見が十分反映された制度となるように努力を傾注していくことといたします。

(事業計画)

引き続き、「ぎよさい普及推進全国運動」を展開するものとしたします。

本年度加入計画「ぎよさい」で共済金額 五十九億二千万円、「積立ぷらす」で漁業者積立額 四億二千九百万円を設定し、その達成に向けて取り組んで参ります。

今後も、厳しい漁業環境が続くと思われませんが、「ぎよさい」と「積立ぷらす」の果たす役割への漁業関係者の期待は引き続き非常に高い状態にあります、漁業経営のセーフティーネットとしての機能が十分に発揮できるよう、国、地方自治体、漁協系統、漁業者団体との連携を図り、より一層浸透・定着させ、漁業経営の安定に貢献していけるようご理解とご協力をお願い申し上げます。



製品ラインナップ

- ・130F51
- ・155G51
- ・210H52



NO！不法投棄

不法投棄は犯罪です。
バッテリーのリサイクルにご協力ください。



船舶対応ハイブリッドバッテリー

4大特徴

- 容量UPで長寿命化を実現
- 防爆栓の採用により、安全性に配慮
- 船舶専用付属端子付き
- 船舶対応取扱い説明書を添付

好評販売中！！

JF 全国漁業協同組合連合会



JFグループは環境の保全を推進しています！！



製造元 FB 古河電池株式会社
販売元 JF 全国漁業協同組合連合会

〒240-0006 神奈川県横浜市保土ヶ谷区星川2-4-1
〒101-8503 東京都千代田区内神田1-1-12

新潟県 JF 共済推進本部

去る六月二十五日、新潟県水産会館において新潟県 JF 共済推進本部第二八回定例総会が開催されました。

議事に入る前に以下の二点について報告させていただきました。令和六年一月一日に発生し、本県においても、住宅等の建物被害、液状化現象を起因とした道路の隆起や陥没、漁港施設への損害、漁船や漁具の流失など甚大な被害を引き起こした能登半島地震に対し、地震発生直後より震度五強以上の地域へ鑑定人同行により全契約の被害状況の調査を行い迅速な共済金のお支払いに努めてまいりました。現時点において、ほぼお支払いを完了しております。続いて「令和六年度 JF 共済優績組合」(内海府・内浦・水津漁協)が選考・決定された事を説明報告致しました。

来賓として、共水連北陸事業本部菅原本部長の臨席を得、寺尾推進本部長が議長となり議事に入

りました。

第一号議案の令和五年度事業報告は、長期共済新規目標三十五億二千三百万円に対し二十一億七千五百二十万円で、保有は二百七十六億八千三百六十万円を確保しました。「浜の笑顔を共済とともに」JF 共済3か年計画の初年度として、「浜の安心サポート運動」を基軸とした普及啓蒙活動を展開し、特に既契約者に対する保障(補償)内容確認及び契約内容の適正化に力点を置き、制度利用者の満足度の向上に努めました。

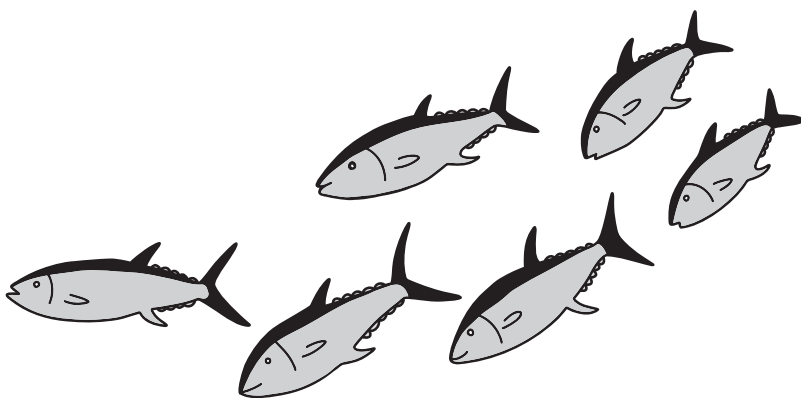
あわせて、「月次数量・行動計画管理」を徹底することで事業量目標の達成を意識した取り組みを実施し JF の共済事業収入の拡大を目指し、「組合員と地域住民の生命と財産を守る」ことを理念に掲げ、最後まで組合と推進本部が一体となった推進活動に懸命に取り組みました。短期共済目標額三百九十三億六千三百八万円で、三百七十一億三百二十万円で達成率は九四%となりました。支払い共済金については、事故による支払及び満期共済金、ねんきんの支

給額を合わせると七億九百八万円でとなりました。長期・短期共済払込掛金合計は五億二百三十七万八千七十円であり、その事業に対する漁協への付加収入は、二千八百三十三万一千五十五円を交付し暮らしの保障と漁協の経営に寄与しました。

第二号議案の令和六年度事業計画は、JF 共済3か年計画の中間年度となり、引き続き、原点に立ち返り共済理念の実現を目指し、組合の普及啓蒙活動を強力に支援して参ります。また、全国・付加収入増率奨励「組合員のため」が「組合のために」を実施することで、共済事業収入の維持・拡大をはかり安定した組合事業運営の一助となるよう努めます。具体的取り組みとしては、「浜のあんしんサポート運動」の定着化をはかり、あわせて、昨年度に引き続き「月次数量・行動計画管理の徹底」を着実に実行することで事業量目標の達成、さらには継続的な事業基盤の確立に寄与すること、JF 共済事業の健全性・信頼性の向上を目指します。加えて、

近年海難事故が多発した教訓から、協同組合運動に根ざした「全漁業者への保障提供の実現」に向けた普及推進活動を JF と推進本部が一体となって、取り組んでまいる所存です。

各議案について異議なく承認となり、暮らしの保障(補償)の充実に努力し、積極的に普及活動に取り組むことになりました。



新潟県漁業士会

令和六年度新潟県漁業士会の通常総会が四月十三日（土）新潟県水産会館で開催されました。

杉戸会長の挨拶後、議長に上越漁協筒石支所の七原祐介漁業士が選任され議案の審議が行われました。

第一号議案「役員の変更について」二年間の任期満了に伴い新役員体制となりました。

第二号議案「令和五年度の事業報告及び収支決算について」、第三号議案「令和六年度事業計画及び収支予算（案）」について、また、規約の改正が行われ「水産物PRイベント等の日当について」審議され全議案が原案通り可決されました。

令和五年度の活動として、JFいしかわとの意見交換会、福井県で開催された日本海ブロック漁業士研修会、スーパードの水産物販売PRイベント、新潟県青壮年・女性漁業者交流大会での活動報告が行われました。

その後、研修会として、(株)雨風太陽の代表取締役の高橋博之様を講師として招き『産直アプリ』「ポケットマルシェ」を活用した魚の販売事例と海業の展開について」と題し講演が行われました。

〈新役員〉
会長 石見 健一（左写真）



副会長 山田 吉弘
副会長 脇坂 聡
幹事 久保田秀長
幹事 石井 裕之
幹事 齊藤 洋佑
監事 本間 喜昭
監事 寺尾 拓弥

新潟県小型いか釣漁業協議会

新潟県小型いか釣漁業協議会の通常総会が四月二十日（土）新潟県水産会館で開催されました。

第一号議案「令和五年度事業報告及び収支決算について」、第二号議案「令和六年度事業計画及び収支決算について」、第三号議案「役員改選について」一号から三号議案すべて原案どおり承認されました。

また、令和六年度漁期における「新潟県沖合の操業取り決め事項」及び石川県から山形県の四県による「操業自主規制に関する同意書」は資源保護や魚価の安定並びに操業秩序の確立等を目的として四県合同会議にて決定しております。本年度は能登半島地震の影響を鑑み書面議決にて開催されました。

その他、本年度も引き続き、「いか釣漁業におけるマグロ被害報告シート」に協力することとなり閉会となりました。

また、原案にありました役員の変更について、全役員が再任いたしました。

〈新役員〉
会長 村尾 長則
副会長 本間 勉
副会長 石見 万三

漁業資源を守る会

第一回役員会

幹事 仲田 紀夫
幹事 津畑 和義
幹事 脇坂三重城
幹事 岩崎 裕一
幹事 堺 康成
幹事 森川 敏幸

四月十六日(火)新潟漁協岩船港支所において、令和六年度漁業資源を守る会の第一回役員会が開催され、来賓として新潟県水産課、新潟県水産海洋研究所から五名のご臨席を賜りました。

第一号議題「令和五年度事業報告並びに収支決算について」、第二号議題「令和六年度事業計画（案）」並びに収支予算（案）について、第三号議題「役員改選について」第一号議題から第三号議題の全議題について原案どおり承認されました。

役員会の中で水産海洋研究所池田主任研究員より、「マガレイ日本海系群の漁獲量減少に関する考

察」や主な底魚類等の漁獲動向についてヒラメ、カレイ類他についての説明がありました。マガレイの漁獲量減少の背景に、近年は生息深度が深い側へ移動していることから、資源量減少と合わせ、操業水深も合わなくなっているのではないかと説明がありました。

最後に本会より最近の国内石油情勢について説明、役員会は終了いたしました。

また、原案にありました役員改選については、各漁協より十三名が推薦され次の通り新役員が選任されました。

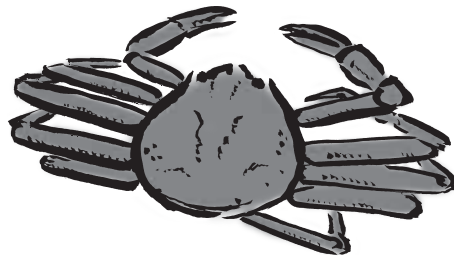


渡邊 裕太 会長

《新役員》

- 会長 渡邊 裕太
- 副会長 島村 榮一
- 副会長 齊藤 洋佑
- 副会長 本間 明治
- 幹事 古俣 勝
- 幹事 東海林真人

- 幹事 井村 大洋
 - 幹事 島田 義美
 - 幹事 当摩 正次
 - 幹事 松門 良一
 - 幹事 本間 満広
 - 幹事 神丸 俊夫
 - 相談役 大滝 栄吉
- 今後は新体制の基、下越地区板曳漁業の相互の親睦及び研鑽を図るとともに自らが資源管理型漁業の促進に寄与し活動していきます。



心に残るやすらぎのひとときと 快適なホテルライフを提供します。

JR新潟駅から徒歩3分。新潟空港より車で20分。
市内のホテルには珍しいほどの広大な駐車場。
抜群のロケーションを誇っています。

伝統に裏づけされた確かなサービス。
客室はゆとりのセミダブルベッド、インターネット回線もご
利用いただけます。自慢のレストラン、宴会場を有した
新潟屈指のシティホテルです。
ビジネスにレジャーにお気軽にご利用ください。



東映ホテルチェーン

新潟東映ホテル

〒950-0901 新潟市中央区弁天2丁目1番6号
TEL.025(244)7101
<http://www.toei.co.jp/hotel/niigata/>

宴会場 大、中、小 9室

客室 133室(収容人員162人)
全室セミダブルベッド使用

レストラン ステーキハウス 喫茶
結婚式場 写真室 美粧室

駐車場 80台収容

受賞おめでとうございます

祝

旭日小綬章

小田 政市 氏

令和六年春の叙勲において、県漁連・前代表理事会長の小田政市氏が令和六年四月二十九日付けで「旭日小綬章」が授与され、去る五月十三日（月）農林水産省七階講堂にて勲章の伝達式が行われました。

小田氏は、昭和三十二年に漁業（福喜丸）に従事されて以来、約六十余年にわたり漁業に精励されてきました。

また、平成九年には旧村上市岩船港漁協・代表理事組合長に就任し、厳しい漁業環境の中、漁協経営改善に積極的に取り組み、健全なる漁協運営に尽力されました。

特に、平成二十年四月には、新潟県漁協合併基本計画に基づき、中・下越地区一〇漁協参加の新生「新潟漁業協同組合」の誕生に大きく貢献をされました。

さらに、平成二十五年六月には県漁連十代目代表理事会長に就任されて以降、三期九年の在任期間中に、(一)連合会の組織・経営基盤強化推進 (二)会員漁協の組織強化（漁協合併等） (三)漁業就業者担い手対策 (四)漁船海難事故防止対策等、多くの課題・問題に実直に向き合い、問題解決に取り組むなど県内の漁業振興と発展に大きく寄与された功績が高く評価され、この度の受賞に至りました。今後とも小田氏の更なるご活躍とご健勝をお祈りいたします。



※受賞会場の様子

新組合長紹介

寺泊漁業協同組合



代表理事組合長 青木 仁夫

就任年月日

令和六年三月十九日

年齢 七十一歳

漁業種類 ごち網漁業

船名 春日丸



TOHATSU

船外機 4ストローク トーハツ和船



(株) マリン商事
〒951-8011 夕奈ムラマリーナ
新潟市中央区入船町4-3776-22
TEL 025-228-2745

人事往来

新潟県水産関係人事異動（令和 6 年 4 月 1 日付）

[水産課]

新所属	旧所属	氏名
農林水産部参事（水産課長）	課長	河村 智志
課長補佐兼漁港課課長補佐	統計課長補佐	大滝 信道
副参事（団体・企画係長）	副参事（内水面係長）	大西 健美
副参事（資源対策係長）	佐渡海区書記長代理	須藤 洋介
副参事（内水面係長）	漁港課副参事（計画建設係長）	吉田 稔
調整係長	新潟海区主査	渡邊 泰生
調整係主査	食品流通課販売戦略班主査	井上 佳孝
資源対策係技師（新採用）		古澤 千春
新潟海区書記長代理	増殖環境課主任研究員	岸原 達也

[漁港課]

新所属	旧所属	氏名
課長	土木部流域下水道事務所長	高橋 昌芳
計画建設係長	内水面水産試験場資源課主任研究員	池田 大悟
管理係長	交通政策局空港課政策企画員	長澤 純子
管理係主査	教育総務課予算係主査	宮本 伸寛
計画建設係主査	上越地域振興局地域整備部主任	上野 恭之
管理係主任	管理係主事	岩野 詩帆
管理係主事（新採用）		湯本 類

[水産海洋研究所]

新所属	旧所属	氏名
参事（漁業課長）	内水面水産試験場資源課長	大江 貢弘
増殖環境課研究員	内水面水産試験場養殖課研究員	大野 佑紀
増殖環境課研究員	佐渡地域振興局農林水産振興部振興課技師	松本 一輝

[農業総合研究所食品研究センター]

水産加工食品科長兼水産海洋研究所利用加工課長	副参事（調整係長）	渡辺 寛子
------------------------	-----------	-------

[内水面水産試験場]

新所属	旧所属	氏名
場長	参事（養殖課長）	佐藤 将
養殖課長	佐渡地域振興局農林水産振興部振興課長	唐木沢 秀之
資源課長	副参事（資源対策係長）	吉田 友和
資源課技術専門幹	場長（役職定年）	米山 洋一
養殖課主任研究員	増殖環境課主任研究員	中嶋 一恵

[佐渡地域振興局 農林水産振興部]

新所属	旧所属	氏名
振興課長	副参事（団体・企画係長）	野瀬 哲
佐渡海区書記長代理	調整係主査	内田 直樹
振興課技師（新採用）		樋口 敬人

[転出者]

新所属	旧所属	氏名
国際課東南アジア室長兼ロシア室長	水産課課長補佐兼漁港課課長補佐	小金井 一
地域政策課連携調整班政策企画員	管理係長	大石 航
総務事務センター福利厚生室給付係主査	管理係主査	諸橋 敦子
三条地域振興局地域整備部治水課主査	計画建設係主査	北村 宏樹
十日町地域振興局地域整備部主事	漁港課管理係主事	村川 梨沙

[退職]

旧所属	氏名
漁港課長	須山 洋一
水産海洋研究所参事（漁業課長）	池田 徹
水産海洋研究所佐渡水産技術センター技術員	金子 正行
内水面水産試験場魚沼支場技術員	諸橋 剛

県指導普及職員紹介

佐渡地域振興局

農林水産振興部（水産）

振興課 技師



樋口 敬人

はじめまして。今年の4月に入庁し、佐渡地域振興局水産庁舎の配属となりました。樋口敬人（ひぐちけいと）と申します。

出身は新潟市中央区で、信濃川の近くに住んでいたため、幼少期から河原でよく遊んだり、釣りをしていました。中学生になってからは遊び場所は川からもつばら海へと代わり、毎週のように日和山浜で友人と雑談しながら釣りをしたりして遊んでいました。海で遊ぶことや釣りをするといった体験を通して、まず魚に興味をもつようになりました。大学進学は、一度は工学部を目指しましたが、浪

人期間を経て、自分の興味のある分野として魚類や水産生物について学びたいと思い直しました。そこで、水産職員としては珍しく水産専門の大学ではありませんが、魚類に関連した研究室のある金沢大学生命理工学類に進学しました。大学での研究は直接的に水産に関わるものではありませんでしたが、水産に携わる仕事がしたい、家族のいる地元に戻ってきたという思いから、新潟県の水産職員になりました。

さて、私は現在、佐渡で技師として、漁船登録全般に関わる事務や佐渡漁業士会の支援、魚食普及、水産多面的機能発揮対策事業などの業務を主に担当しております。前述したように水産専門の大学出身ではないので、わからないことや知らないことが多いですが、漁業者の皆様、職場や水産関係の先輩方にご指導いただきながら、日々精進しているところであります。佐渡ひいては新潟の水産業の発展に貢献できるように頑張ります。皆様ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

CMP CHUGOKU

最高級加水分解型船底塗料



あっぱれ

「あっぱれ」の防汚性能がさらにアップしました。

※ 製品改良に伴い光沢が若干増しており、仕上がり感が従来品と若干異なります。

あっぱれの特長

表層の高濃度の防汚剤イオン層により、優れた防汚効力を発揮します

高活性加水分解ポリマーによって、表面更新性が優秀です

塗膜表面が平滑に研磨され、水中の摩擦抵抗が減少します

色がカラフルです

2kg 4kg レッドH ブルーH 黒H

中国塗料株式会社

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-6 東京倶楽部ビルディング
TEL: 03-3506-3971 Website: www.cmp.co.jp

ご用命は最寄りの
漁業協同組合 購買課まで

人事往来 系統団体人事異動

[信漁連]

日付	新所属	旧所属	氏名
令和6年6月28日付	執行役員兼総務部長	常務理事兼総務部長	樋口 雄一
令和6年4月1日付	業務部	本店総合企画部	森藤 祐輝
	本店事業企画部	総務部(監査兼審査)	乙川 貴子
	総務部次長代理(監査兼審査)	総務部次長代理	山際 浩治
	総務部調査役	業務部主任	広川 隆俊
	業務部調査役	業務部主任	宇沢 剛志

[漁船保険]

日付	新所属	旧所属	氏名
令和6年4月1日付	統括部長	統括次長	金子 真吾
	統括部 業務課 課長代理	統括部 業務課 主任	長谷川 早
	統括部 業務課 課長代理	統括部 業務課 主任	本間 義基
	統括部 総務課 嘱託	統括部 総務課 考査役	澤田 和香

[水振協]

日付	新所属	旧所属	氏名
令和6年4月1日付	村上事業所 技術員	新採用	古田 一真
	村上事業所 技術員	新採用	白幡 頼人

[共済組合]

日付	新所属	旧所属	氏名
令和6年2月1日付	新潟県事務所 係長役	鳥取県事務所 総務課 係長	長戸 芙文

共栄火災



サイ吉

人々が気持ちよく毎日を暮らせるよう、
安心のチカラでそっと支えるサイ。
共栄火災のサイ吉です。



夢を、未来を、 ずっと近くで支えたい。

隣にいる誰かと、家で待つ誰かと、未来で出会う誰かと。
人はみんな、あらゆるつながりの中で暮らしています。
そのつながりが、もっと身近なものになれば、
人生はずっと豊かなものになる。
共栄火災は、確かな安心のチカラで、
そんなあなたの毎日を応援します。
それが、地域を支え、暮らしに役立つ保険会社としての、
私たちの使命だから。

つながり強化宣言！ 共栄火災

まるまるそろった安心と、わかりやすさを。
めざしたのは、つつみこむような自動車保険です。

総合自動車保険 KAP **くるまる**

JF共水連(全国共済水産業協同組合連合会)との連携強化：損害保険分野において、優れた補償の提供とサービスの向上を図るために、JF共水連との連携強化を継続してまいります。

共栄火災海上保険株式会社 [中央支店新潟支社] 〒951-8116 新潟市中央区東中通1番町86-16 TEL.(025)229-0512 www.kyoeikasai.co.jp

系統団体職員紹介

公益社団法人新潟県水産振興協会
村上事業所



ふるた かずま
古田 一真

令和六年四月より採用され、村上事業所で勤務しております、古田一真と申します。

新たな環境で不安も多くある中、職員の皆様方のご指導のもと、少しずつ業務を覚えられるように日々努力しております。

現在は様々な業務をやらせていただき、経験を積むことで一年間の流れを覚え、来年以降の業務を円滑に進められるように毎日の業務に従事しております。そんな私は「業務一つ一つを正確に行う事」そして「効率良く出来るように工夫する事」の二つを目標に掲げております。

最後になりますが、ご迷惑おかけすることがあると思いますが、少しでも早くより多くの業務を覚えられるように努めて参ります。これからもご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



しらはた らいと
白幡 頼人

令和六年三月に山形県の高校を卒業し、四月より新潟県水産振興協会村上事業所で技術員として採用された白幡頼人です。

新たな環境で不慣れな所や分からない所がありますが、一つ一つの事をしっかり覚えたいと思っています。特に生き物相手の仕事なので、一年のサイクルと、その時々状況の変化に柔軟に対応する力が必要になってくるので、報告、連絡、相談といったコミュニケーションをしっかりと取り、積極的に行動していきたいです。まだまだご迷惑をお掛けしてしまふ事はあるかとは思いますが、

ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願致します。また、放流等で皆様にお会いする機会がありましたら、その際はよろしくお願致します。

全国合同漁業共済組合
新潟県事務所

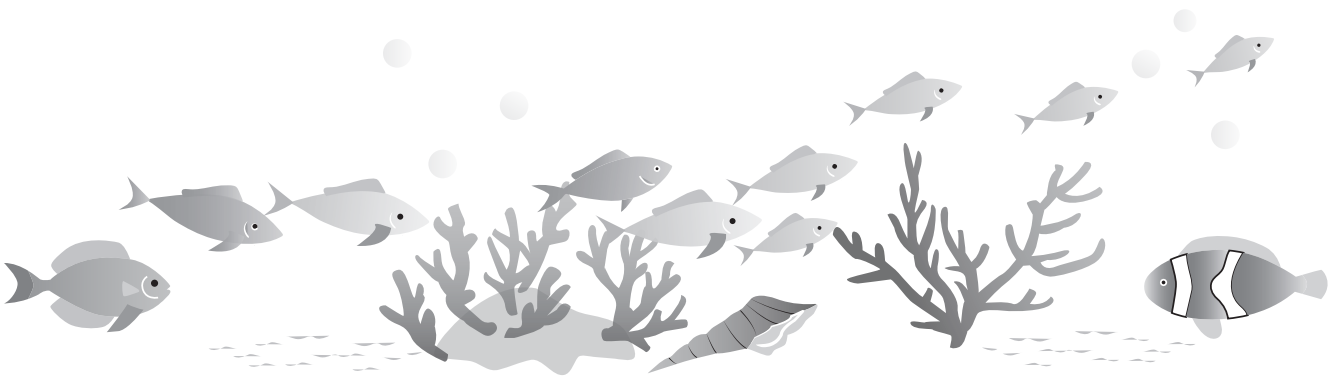


ながと みふみ
長戸 芙文

令和六年二月に全国合同漁業共済組合新潟県事務所へ異動して参りました。

入組後は鳥取県事務所にて総務経理を担当しておりましたが、この度職種変更と同時の異動となり、早いもので気付けば五カ月が過ぎました。

至らない点もあるかと思いますが、皆様のお役に立てるよう今後も精進して参りますのでご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願致します。



県内イベント情報

令和六年

【二月～六月開催】

県内各地区で魚まつりの開催や鮮魚販売イベントが開催され賑わいを見せていました。

【筒石】
名 称

越後つついし大漁感謝祭「鮮魚直売」



開催日時

令和六年五月三日

開催場所

糸魚川市 筒石漁港

開催内容

・鮮魚販売 素人競り市、浜焼
きサービス等

来場者数

約六〇〇人（推定）

【柏崎】
名 称

かしわざき港さかな祭り

開催日時

令和六年六月二日

開催場所

柏崎港観光交流センター夕海

開催内容

・鮮魚販売（タイ、ハチメ）
・浜汁ふるまい、タッチプール

来場者数

約五、〇〇〇人

【出雲崎】
名 称

第十九回大漁さかなまつり

開催日時

令和六年五月三日

開催場所

新潟漁業協同組合

出雲崎卸売市場

開催内容

・鮮魚販売、カニ鍋・エビ鍋販売
・サザエの片手つかみ取り

来場者数

約三、〇〇〇人

【新潟】
名 称

南蛮エビ直売会

開催日時

令和六年四月六日

開催場所

新潟漁協 地魚工房前



開催日時

令和六年四月六日

開催場所

新潟漁協 地魚工房前

開催内容

・鮮魚販売（南蛮エビ）

来場者数

約一〇〇人

【新潟】
名 称

クロマグロ直売会

開催日時

令和六年六月十五日

開催場所

新潟漁協 地魚工房前



開催日時

令和六年六月十五日

開催場所

新潟漁協 地魚工房前

開催内容

・鮮魚販売（クロマグロ）

来場者数

約五〇〇人

高規格のどぐろお披露目会について（新潟県産高規格のどぐろについて）

県では「新潟県農林水産物のブランド化推進に関する条例」に基づく基本方針において、県推進ブランド品目（水産）として、のどぐろ（アカムツ）、南蛮エビ（ホッコクアカエビ）、錦鯉の3品目を選定しました。のどぐろについては、新規ブランドとしての立ち上げになりますが、インターネットの検索サイトでは、新潟とのどぐろを関連付けた検索が多く調べられていることから、これを上手に活用することで新潟県産水産物全体のイメージアップに繋がること

が期待されます。新潟県のどぐろは、漁獲量では主産地である島根県、山口県などに及びませんが、いずれの漁業種類においても日帰りで操業していることから、漁獲物は当日中に水揚げされるのが基本であり、鮮度面では主産地よりも有利です。しかしながら、漁獲量の少ない新潟県では、鮮度面のみアピール

だけではインパクトが薄いことから、「新潟県」のどぐろをイメージ付ける牽引役が必要です。これにあたり漁業関係者からの聞き取り等を行った結果、県内の一部の地域、漁法では、高鮮度の大型のどぐろを鱗の剥がれない水揚げしており、市場においても高く評価されていることから、こののどぐろを新潟県産のどぐろのイメージリーダーとして立ち上げることとし、関係漁業者と協議を重ねた結果、新ブランドの規格は以下のとおりとなりました。

- ① 400g以上
 - ② 特定の漁業種類によって漁獲されたもの（はえ縄・村上岩船港、桑川漁港、刺網・糸魚川市筒石漁港の指定漁船）
 - ③ 魚体に素手で触れないこと
 - ④ 漁獲後から氷冷し、魚体に氷が直接触れないように荷造りを施したもの
- 名称については、漁業者からの

発案を元に、海から揚がってくる鱗の剥がれ一つない美しいのどぐろを宝に例えた「美宝（びほう）」に決定しました。

今回のどぐろのブランド化の目指す姿は、「のどぐろを食べる新潟へ」と設定しており、県外の観光客をメインターゲットとしていることから、より多くの県外在住者の目に触れてもらうことを目的に、新ブランドのお披露目会を6月17日、東京都・八芳園にて行いました。当日は首都圏、新潟から多くの報道関係者、食に関する雑誌編集部等が来場し、花角知事による新ブランド名発表、県推進ブランド品目アンバサダーの発表、美宝の試食などが多くのメディアにおいて取り上げられました。

美宝の対象となる漁船（漁業者）については、今後規格に合致する対象者の掘り起こしも含めて検討していきます。また、様々な

面で課題も出てくることと思いますが、美宝が新潟県を代表するブランドの一つとして認知されるように関係者と連携しながら、より良いものとなるように改善を続けていきたいと考えております。



大変動を繰り返す魚「マイワシ」

新潟県水産海洋研究所
樋口 正仁・佐藤 修

2023年頃からマイワシの漁獲増や大量死の話題を見かけるようになりました。新潟県でも、2023年2月に県南部で大量のマイワシが海岸に打ち上げられました。そこで、今回はマイワシの近年の漁獲動向についてお話しします。

マイワシは、漁獲量が著しく変動する魚種であり、1980年代に漁獲量が大幅に増加しました。太平洋側では、250万トンを超え、日本海側でも100万トンを超える漁獲がありました。その後急速に減少し、2000年代になると資源水準は極めて低い状態になりました。その後、太平洋側では2010年以降増加傾向に転じ、2020年代の日本の太平洋側の漁獲量は50万トン前後を推移しています。一方、日本海側では、太平洋側ほどの顕著な増加は認めら

れませんが、2011年以降、資源量指標値が増加傾向にあり、漁獲量は10000トン代で推移しています（水産庁2022）。

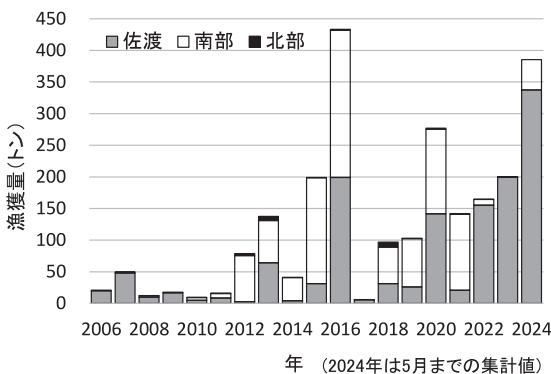
新潟県では、1991年に10万トンを超える漁獲がありました。2000年代になると10トン代まで急速に減少しました。2012年以降、まとまった漁獲がみられるようになり、近年は佐渡と県南部の定置網漁業でマイワシを多く漁獲しています。2024年の5月までの定置網での漁獲量は385トンとなり、2016年に次ぐ漁獲量となる見込みです。水揚げが多いのは2月から4月で、小型の個体が多く漁獲されています。

まとまった漁獲となった要因を考えてみると、マイワシの通常の生息水温は10℃から20℃で（増田1994）、産卵場の水温は16℃

から22℃とされています（高須賀2007）。2024年2月から3月の新潟県沖の表層水温は11℃程度でした。また、過去の沖合域のマイワシの分布量調査結果をみると、3月では新潟県沖を含む北緯38度付近の分布量が多くなり、その後、北上する傾向が認められました（和田1998）。これらのことから、資源量が増加傾向の中で、2月から4月では、産卵のためではなく、適水温となった新潟県沖にマイワシが来遊し、漁獲されたと推測されます。

次に、今後の漁獲量について考えてみます。近年の漁獲量は、1990年頃の大量漁獲と比べると100分の1以下で推移し、資源水準としては低い評価のままです。過去の大量漁獲時のような兆候は現在のところは確認されていないことから、急激に資源が増加する可能性は小さいのではと考えられています。当研究所としては、今後も調査を継続し、資源や漁獲動向に関する情報を提供していきたいと考えています。

図 新潟県の定置網漁業におけるマイワシの漁獲量



平洋の気候変動との関係や、カタクチイワシ等の他魚種と関連した魚種交代現象として捉える研究例があります（高須賀2007）。さらに、地球の磁場強度との関係を分析した研究もありますが（爲石・八木2023）、餌生物や捕食関係等の自然環境要因が資源の急増にどのように関わっているかは未解明となっています。謎の多いマイワシですが、末永く海の恩恵をあげるには、変動する資源を上手に利用することが大切だと思っています。

水揚情報

令和6年5月末現在

単位：(kg, %)

水揚市場 区分	水揚合計	新潟	岩船	山北	寺泊	出雲崎	上越	佐渡
R5.12月～R6.5月 累計	5,345,643	1,581,763	327,134	323,468	204,347	95,599	604,540	2,208,792
R4.12月～R5.5月 累計	6,709,746	2,732,473	413,759	385,750	160,458	85,518	733,655	2,198,133
増減 (kg)	-1,364,104	-1,150,711	-86,625	-62,282	43,889	10,081	-129,115	10,659
前年対比 (%)	80%	58%	79%	84%	127%	112%	82%	100%

地区別魚種ランキング12月～5月

前年対比：増加↑ 横ばい➡ 減少↓

新潟

魚種ランキング	区分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	べにすわい	454,680	↓
2	さごし	159,007	↑
3	ふぐ	102,030	↑
4	まだら	91,405	↑
5	あじ	63,744	↓

寺泊

魚種ランキング	区分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	まあじ	96,382	↑
2	まだい	13,333	↑
3	ひらめ	12,984	➡
4	まだら	11,496	↑
5	そうはち	6,844	↓

岩船

魚種ランキング	区分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	まだら	95,653	➡
2	まあじ	27,007	↑
3	するめいか	26,139	↑
4	ひらめ	20,902	↑
5	いなだ	11,552	➡

出雲崎

魚種ランキング	区分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	まだら	43,894	↑
2	かれい	12,730	↓
3	さざえ	8,823	↑
4	すわいがに	6,614	➡
5	すけそうたら	2,970	↑

山北

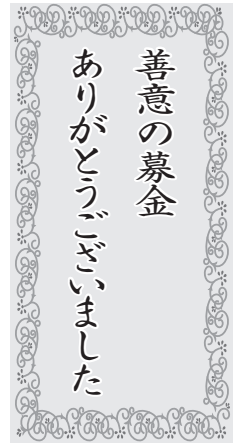
魚種ランキング	区分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	まだら	47,076	↓
2	ひらめ	33,753	↑
3	すわいがに	25,101	↑
4	たい	17,863	↓
5	あじ	15,617	➡

上越

魚種ランキング	区分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	まだい	91,258	↓
2	にぎす	78,394	↓
3	まあじ	57,105	↓
4	さば	43,450	↓
5	うすめばる	31,465	↓

佐渡

魚種ランキング	区分	漁獲量 (kg)	前年対比
1	いわし類	441,499	↑
2	さば	279,665	↑
3	いなだ	272,814	↑
4	ぶり	151,030	↓
5	あじ	149,110	↓



令和五年度漁船海難遺児募金として次の方々から善意の募金を戴きました。

- 佐渡さかなまつり実行委員会 四三、〇五八円
- 羽吉浜漁業協同組合 二、二〇〇円
- 新潟漁業協同組合 五十嵐浜支所 四、〇四六円
- 東水会会員一同 一〇六、五六五円
- 東日本信用漁業協同組合連合会 新潟支店 八、〇〇〇円
- 日本漁船保険組合新潟県支所 九、〇〇〇円
- 全国漁業信用基金協会 新潟支所 三、一六〇円



今年度も引き続き、漁船海難遺児募金への御支援をよろしくお願います。

合計二十一万九千九百八十七円を漁船海難遺児育英会に送金させて頂きました。

- 新潟県水産振興協会 一四、〇〇〇円
- 全国合同漁業共済組合 新潟県事務所 二、〇〇〇円
- 共水連北陸事業本部新潟支店 五、〇〇〇円
- 新潟県漁業協同組合連合会 二二、九五八円

次期運動方針にかかる組織協議の実施について(県漁連より)

このたび2025年度を初年度とするJFグループ次期運動方針(本年12月4日開催JF全国代表者集会で最終決定予定)にかかる組織協議案(現行運動方針の振り返り・JFグループを取り巻く情勢と現状・課題認識・次期運動方針における基本的考え方・具体的な取組事項)を県内会員漁協に送付させて頂いております。

会員漁協からの説明等ご要望があれば本会役職員が積極的に対応させて頂きたくしますので、組合員の皆様においては現行運動方針を再度ご確認いただき、所属漁協へお問い合わせいただけますようお願い申し上げます。

JF綱領

わたしたちJFのめざすもの
一、海の恵みを楽しむすべての人々ととも



に、海を守り育み、次代へ引き継ごう。
一、食料供給の担い手として、安全・安心・新鮮な水産物を提供しよう。
一、都市・農山村の人々と交流を深め、活気ある漁村をつくらう。
一、JFの利用・参加によって、協同の成果を高めよう。
一、自主・自立、民主的運営を基に、JFを健全に経営しよう。
一、協同の理念を学び、実践を通じて共に生きがい追求しよう。

漁船情報 漁船リース事業 事業承継者募集について

○下記漁船で事業承継していただける漁業者さんを募集しています。
漁船購入を検討している漁業者さんや独立を検討している漁業者さん
下記の漁船で操業を考えてみませんか。



※国の補助事業、漁船リース事業を活用しておりますので別途条件がございます。
詳細についてはお問合せ下さい。

漁船の要目

船名	第八豊栄丸（令和4年6月末まで稼働実績）
漁船登録番号	NG2-2093（板びき網漁業、こぎ刺網漁業）
船質	軽合金
総トン数	6.2トン
主要寸法	12.18m×2.88m×1.20m
造船所	東和造船株式会社（新潟県新潟市）
進水年月	昭和61年6月（船齢38年）
機関製造者	三菱重工エンジン&ターボチャージャ(株)
推進機関	ディーゼル355kw S6M4-T2MTKL（機齢3年）
主要設備	オートパイロット、レーダー、GPS、魚探、無線、AIS
問い合わせ先	（一社）新潟県漁業リース協会 TEL 025-243-3681（県漁連内）

みんなで築こう浜の信頼 漁協合併！

お知らせ



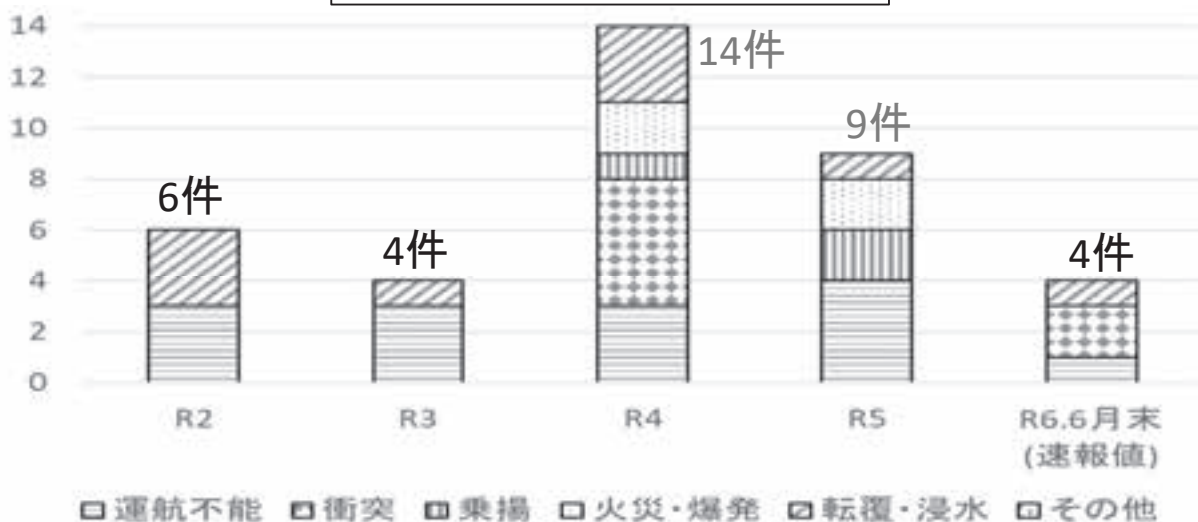
新潟海上保安部

①近年の漁船海難の発生状況

新潟県内での漁船海難が、昨年は9件発生しており、一昨年より少なくなっているものの、今年は6月末時点で既に4件(昨年の同時期に比べて1件多く)発生しています。

また、毎年のように転覆事故や1人で乗船している時に船内で負傷し、運航できなくなる事故が発生しています。

新潟県内の漁船海難発生状況



②事故の傾向と対策

今年、新潟県では、漁船同士の**衝突**事故、**転覆**事故及び洋上での作業中の**負傷**事故が発生しており、いずれも1人で乗船している時に発生しています。

これらは、船上で作業をしながら移動している時に、見張りが不十分となって発生するなど、**基本的な安全意識の欠如**によるものと見受けられます。

単独での乗船中に事故が発生する傾向が見られるので、可能な限り**複数名での行動**を心がけていただくほか、万が一落水した場合や船上で負傷し動けなくなった場合に備え、**救命胴衣の着用**や**救助依頼が出来る工夫**をお願いします。

【問合せ先】

新潟海上保安部 交通課
TEL 025-244-1008



税関から漁業関係者の皆様へのお願い

税関では、国民の皆さんの生活を脅かす不正薬物や銃器などの密輸を撲滅するために日々取締を行っています。

国を跨いだ人やモノの流れが活発化している中で、令和五年に不正薬物の摘発件数は八百十五件、約二千四百六キロが押収され、この量は過去2番目の多さであり、極めて深刻な問題となっています。

日本国内で摘発される不正薬物や拳銃のほとんどが海外からの密輸品です。過去には沖合で積み替えられ、海岸や漁港で陸揚げされる事例もありました。税関では、更なる水際での取締強化を進めているところです。

新潟県の長い海岸線の全てを取締まるためには、普段から沿岸部にて活躍されている漁業関係者の皆様の協力が必要不可欠です。

身の回りで何か不審なことを発見したときは、新潟税関支署（〇二五―二四四―九三一四）又は密輸ダイヤルまでご一報下さい。



洋上取引された覚醒剤
約1トトン

漁業関係者からの
情報提供により
摘発につながった
事件もあります。

01
皆さまの情報提供のご協力が
必要です

洋上取引され、静岡県
の海岸で摘発された過去最大の
覚醒剤摘発事案です。

漁港に不審人物が出入りしている、
見慣れない小型船舶が停泊
している。



小型船舶を利用し洋上取引された覚醒剤
約587kg

02
皆さまの情報提供のご協力が
必要です



船員らが密輸しようとした
拳銃等

深夜などに、
周囲を気にしながら、
荷物の積卸しをしている
場合は要注意です。

03
皆さまの情報提供のご協力が
必要です

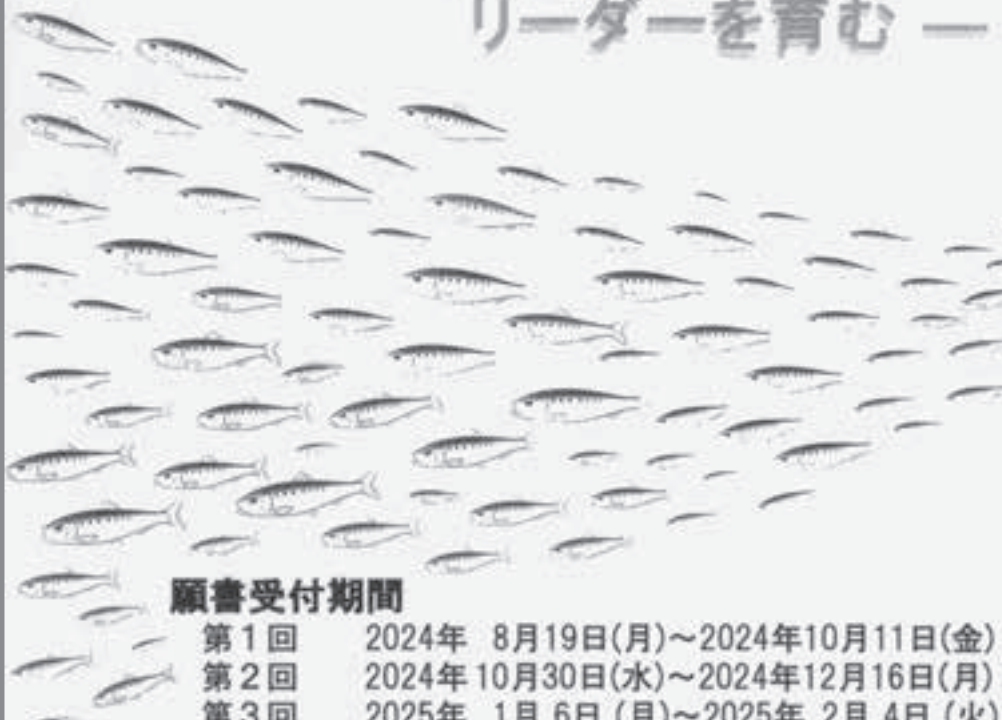
外国貿易船の船員と
暴力団が共謀して
密輸しようとした拳銃です。

2025年度

第86期

全国漁業協同組合学校

— JF(漁協)を担う若き
リーダーを育む —



学生募集

修業年限 1年(兼制) 募集人員32人(男女共学)

願書受付期間

- 第1回 2024年 8月19日(月)~2024年10月11日(金)
- 第2回 2024年 10月30日(水)~2024年12月16日(月)
- 第3回 2025年 1月 6日(月)~2025年 2月 4日(火)

募集人員

- | | | |
|-----|------------|------------|
| 第1回 | 【現職者入学】 5人 | 【一般入学】 20人 |
| 第2回 | 【現職者入学】 若干 | 【一般入学】 若干 |
| 第3回 | 【現職者入学】 若干 | 【一般入学】 若干 |

入学選考日 (※選考会場は各都道府県漁連・漁協)

- 第1回 2024年10月29日(火)
- 第2回 2025年 1月17日(金)
- 第3回 2025年 2月18日(火)

連絡先

〒277-0854 千葉県柏市豊町1-4-5 TEL: 04-7144-8125 FAX: 04-7145-5003

<https://if-kumialgakkou.com/> 「組合学校」で検索

